

COVID-19感染者の声から学ぶこと ～感染者アンケート～

先月号ではコロナ感染者を対象に実施したアンケートをベースに、新たな感染の波に備えて何をすべきなのか紹介しました。誌面の都合で詳しく紹介できなかったアンケートの具体的な内容について、今月号で改めてご紹介します。

1. アンケートの回答者と症状

今回のアンケートでは12名の方に協力いただきました。回答者は30～50代の方が多く、駐在員を中心とした商工会員の年齢分布を反映しています。自宅療養の方の中には40℃近い熱が出たケースがあったり、味覚嗅覚障害が長く続いたりといった症状が出ていますので「自宅療養＝軽症」とは限らない点にご注意ください。

図1. 回答者の年齢分布

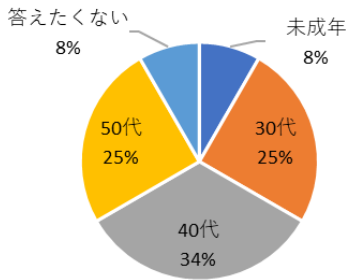
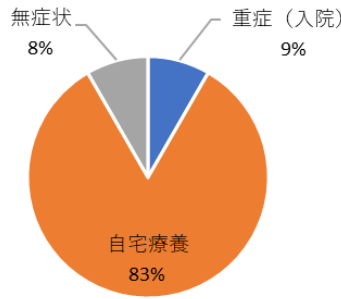


図2. 症状

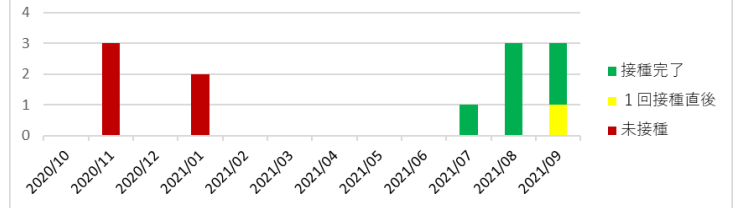


2. 感染時期とワクチン接種状況

感染は2020年末から翌年にかけてと2021年の7～9月に集中。これはハリ

ス郡で新規感染者数が増加した時期と一致しており、地域の感染状況に注意することが大事だと分かります。

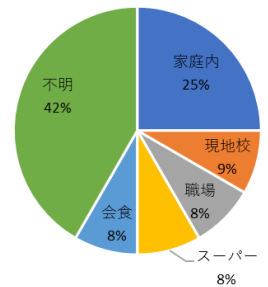
図3. 感染時期とワクチン接種状況



3. 感染経路、感染発覚前のコロナ対策

感染経路が推定できたケースでは家庭内が25%で最も多く、これは全てお子様を介した感染でした。一方で職場やスーパーでの感染疑いもある他、不明が42%に達しており、気づかずにかかってしまう病気であることが分かります。

図4. 推定される感染経路



4. まとめ

12月号の繰り返しになりますが、アンケートから見えてくるのは十分に注意していてもコロナに感染してしまう可能性があるということです。ワクチンも万能ではなく、若ければかからないということもありません。

誰でも感染する可能性があるということを前提に普段から準備をしておくとともに、感染したのは本人のせいだ、というような自己責任論に陥ることなく、みんなで助け合ってこの難局を乗り切っていきましょう。(編集部)

日本一時帰国体験記 (年末年始編)



ガルフストリームでは9月号や11月号で一時帰国の流れや強制隔離体験についてレポートしてきましたが、感染状況の変化やオミクロン株の出現に応じて入国規制もどんどん変化しています。今回は昨年末に一時帰国した人々からのヒアリングを元に最新の一時帰国情報をレポートします。

【出発前～日本到着まで】

出発前の準備については大きな変化はありません。陰性証明の取得には商工会ホームページをご参考ください。予約していたのに薬局が在庫不足になった事例などもあり、バックアッププランの準備をオススメします。また政府指定のアプリもバージョンがどんどん変わっていますので、常に最新の情報をチェックください。

【空港にて】

こちらも基本的な流れは変わりません。過去にも一時帰国を経験した人からは、係員が慣れて以前よりもスムーズだったという声も聞かれました。ただ、待ち時間はタイミング次第。飛行機が着いた時点で、それより前の便がいなければすぐに検査に通されますが、同じ時間帯に複数の飛行機が到着すると、数分の着陸時間の差が1時間以上に増幅されることもあるようです。

また12月16日以降、テキサスも指定施設での待機対象となってしまうましたが、待機組の人は他の入国者に比べて検査後に待たされる時間が長くなります。関西空港ではこの待ち時間にパンとジュースが配られたそうです。



【待機施設】

一部屋に入る人数はMax 3人のようで、5人家族だと2人(ツイン)と3人(ツイン+エクストラベッド)に分かれます。となると大事な部屋割りをどうするか。一度部屋に入ってしまうと交流できなくなるので、荷物なども事前に分けておく必要があります。但し、家族の中で陽性者が出た場合、陽性者

と陰性者で別行動になってしまうので、荷物分けにも限界はあります。

その他、体験者のアドバイスを紹介します。

- ・お弁当は野菜が多く大人向け。育ち盛りの子供には量が少ない。
- ・部屋が乾燥しているのでのど飴などがあるとよい。
- ・牛乳はホテルでは手に入らないので、欲しければ常温保存可能なものを持ち込む必要あり。
- ・コーヒーやインスタントの味噌汁もあればよかった。
- ・生活必需品(衛生用品・子供の離乳食)はホテルのスタッフに言えば用意してくれる。



【3日待機の後】

指定施設での3日待機を終えた後も11日間の自主隔離は続きます。指定アプリから現在地報告やビデオ通話での本人確認が求められますが、日本時間の朝から夜にかけてランダムにかかってくるため時差ボケしてたり、米国時間に合わせてリモートワークしてる人にはとるのが難しいこともあります。ただ、絶対にとらなければならないわけではなく、寝るときなどは無理に出なくてもよいそうです。

また同じ飛行機でオミクロン株の陽性者が出た場合、3日待機が終わった後でも指定施設に入るように言われますが、個人の事情や環境に応じて自宅待機OKとなるケースもあります。

【思うこと】

ざっと一時帰国の流れを紹介しましたが、もっと知りたい方はお助けマップのブログもご参照ください。どうも入国時の対応は空港やホテル、自治体などによるバラツキもありそうで、まさにガチャ状態。私たちがストレスたまりませんが、空港やホテルなどで働いているスタッフの皆さんも大変なストレスのはず。イラッとしても目の前の人に当たり散らすことのないようにしたいですね。

待機体験談は[お助けマップ](#)のブログにもアップされています。

(編集部)